

日本文学研究会

平成二十七年二月十八日

『紫式部日記』をどう読むか

—もう一つの読み方

教授 久下 裕利

萩谷朴『紫式部日記全注釈』（角川書店）に当日記が子女のための庭訓書だという説があり、儀礼に於ける女房たちの装束描写や寛弘六年（一〇〇九）の記事に換えての消息文での女房批評は、そうした意図の蓋然性を高めるが、もう一つ道綱家をどう道長家に摂り込むかという役割を負っているようで道綱女宰相の君豊子の描き方に特異性があるからだ。

式部と親密な同僚女房として三人の中で、大納言の君と小少将は宮仕えにおける憂愁を共有してその生き難さの暗い面が強調されるのに対し、冒頭近くに据えられる宰相の君との交友関係はなぜ明るく華やいでいる。詮子側に組みしないように宰相の君を倫子側に繋ぎとめておくような作意とみられよう。

口語歌人青山霞村の伝記的事実

教授 中西 裕

口語短歌を創始し、初の口語短歌集『池塘集』を刊行した歌人青山霞村（あおやまかさん 1871-1940）については、伝記的事実が明確になっているとはいえない。これまでに見落とされてきた『米国苦学実記』（形影生著）が霞村の著書であることを確定し、そこから伝記的事項を拾い出すとともに、同志社大学図書館等に所蔵されながら、やはり利用されずにきた霞村主宰の短歌雑誌『からすき』を通覧して事実確認作業を行った。そこから判明した、アメリカ遊学や『京都新聞』経営の事情、家族構成などについての研究成果を発表した。

平成二十七年度 大学院 言語教育・コミュニケーション専攻 （日本語教育） 修士論文題目

○中国北東部地方都市の中等教育機関における日本語学習者の分析

—学習動機と成績及び進学先からの関係を軸に—

王 聡

○韓国日本人語学習者の初対面における聞き手行動に関する研究

—日本語母語話者との比較を通して—

土田 明穂

平成二十七年度 日本語日本文学科 卒業論文題目

○「痴人の愛」論

阿久津尚美

○現代歌謡曲歌詞の特徴抽出

荒川 美穂

○源氏物語研究

荒巻有芳子

○太宰治「お伽草紙」論

安藤 舞

○吉本ばなな「アムリタ」の魅力

池田 真衣

○富山方言の文末詞

稲垣 汐璃

○谷崎潤一郎『細雪』論

稲垣柚莉花

○女児向け「アニメ」主題歌の歌詞にみる特徴と変遷

今井 茉希

○あまんきみこの描く童話の世界

大倉まなみ

○学校教科書における古典語の語彙調査と教材開発

大津 千尋

○宮沢賢治「銀河鉄道の夜」論

岡田 夏実

○源氏物語における薫の人物造型 — 本当の薫を見つめる —

片山 彩夏

○家族と会話

加藤 綾

○夏目漱石「門」における男女の罪意識

小柴 奈穂

○芥川龍之介「河童」論

小林 実里

○宮沢賢治『銀河鉄道の夜』論	小山 遥	○日米の学園ドラマにおける断りの比較 — 人間関係によるポライトネスの差と社会的背景に注目して —	山本 実咲
○清少納言「枕草子」論	近藤美紗子	○『宇治拾遺物語』の研究 — 「五色鹿事」について —	吉岡 由衣
○「笑い」のオノマトペ	五関 美佳	○遠藤周作「おバカさん」論	渡辺 知恵
○宝塚で見る女性のことば	齋藤ひかり	○梶井基次郎『のんきな患者』論	五十嵐美紗
○金子みすゞ論 — 童謡と生涯 —	佐藤 彩美	○宮澤賢治『銀河鉄道の夜』論	石田 愛美
○少女小説における「姉妹」	鹿川由莉香	○『銀河鉄道の夜』における幻想的世界観の魅力	石野 真子
— 『花物語』と『マリア様がみてる』を中心に —	嶋田 里美	○川端康成『伊豆の踊子』論	板橋 愛実
○スポーツの言葉	シン・ウィン	○『御伽草子』の研究	岩田万智子
○魯迅の『故郷』について	関 悠希	○花散里の個性の確立と優位性	上原 里菜
○女性の名づけとキャラクターの名づけ	高木 綾乃	○森鷗外「牛鍋」論 — 「眼」について —	岡田 茉耶
○漫画における日英オノマトペの比較	高梨 有里	○李白における飲酒詩	荻原 綾香
○杜甫の動物を描く詩	高林 加奈	○『古事記』における鳥の研究	加藤 利彩
○御伽草子『稚児今参り物語』の研究	田中 紫穂	○非言語コミュニケーション	小西 未来
○中島敦「山月記」研究	中根 彩佳	○国際結婚夫婦間の異文化間コミュニケーションについて	今野 佑香
○歌謡曲韻文歌詞の言語的研究	長島 聖月	○豊島与志雄の童話論 — 登場人物の価値観をめぐって —	齋木明日香
○光源氏と頭中将の人物像	野村 彩華	○森鷗外研究 — 「電車の窓」を中心に —	佐藤 瑠奈
○「坊っちゃん」における清	パク・ミンジョン	○江國香織作品における愛の形	染谷 優佳
○敬語に関する日韓対照研究	平野 詩織	○「海と毒薬」論 — 罪の意識について —	田揚 美帆
○演者に対する「聴衆」の言語表現	福澤 優気	○森鷗外研究 — 「杯」を中心に —	高橋 侑子
○新聞における略語の役割 — 分かりやすい表現との関係 —	福田麻友子	○太宰治「駈込み訴へ」論	田口あゆみ
○『オズの魔法使い』論 — 不思議の国オズとは —	松本 美樹	○鹿児島市方言について	東條 康子
○広告表現について	溝口 愛	○あまんきみこ『車のいろは空のいろ』論	中野佑有子
○夕霧の造型 — 『源氏物語』におけるまめ人の役割 —	村松 萌	○言語における「その人らしさ」の特徴抽出	西島 有香
○吉本ばなな作品における死生観	森永 絢子	○村上春樹作品における生と死、喪失について	
○近代漢語研究	山口 美佳	— 「ノルウェイの森」を中心に —	西本 朱里
○古典助動詞「まし」研究			

- 大岡昇平の戦争小説
- 呼称表現における日韓対照研究
- ドラマ「GOOD LUCK!!」の構成と専門用語の分析
- キャッチコピーについて
- 村上春樹論 ―映像の視点から
- 坂口安吾文学における女性像
- 谷崎潤一郎『卍』論
- 『姥皮』の研究
- 副詞「全然」に関する通時の研究
- 夏目漱石「明暗」における倫理観
- 川端康成文学における美意識
- 梶井基次郎「Kの昇天」論
- 企業ホームページから見る文章論
- 芥川龍之介と中国文学 ―「杜子春」を中心に―
- 非言語コミュニケーション
- 御伽草子『しぐれ』の研究
- 森鷗外「里芋の芽と不動の目」と工場法
- 太宰治の人間観 ―「人間失格」を中心に―
- 日本語と手話の対照研究
- 役割語としての女性語 ―女性的な終助詞を中心に―
- 本のタイトルと帯の文の比較
- 六条御息所の人物像 ―屈辱感を中心に―
- 『だれも知らない小さな国』論
- ―コロボックルの世界が示す価値観―
- 木花之佐久夜毘売と円野比売について 選択の結末
- ―美と醜を中心に―

濡髪菜穂子
 法月 優衣
 馬場 有沙
 林 真移子
 林田菜穂美
 早船 舞
 日比野ほか
 古郡 万雅
 間庭 瑞貴
 水野真理菜
 三田恵理子
 宮本 麻萌
 望月 愛実
 矢澤 礼子
 柳田百合子
 山下 恵実
 山本 成美
 吉崎 真奈
 渡邊くるみ
 渡邊 美優
 青木 梨紗
 赤石 春花
 浅井 理子
 天野 亜美

- 梶井基次郎作品における光と闇
- 東海道中膝栗毛研究
- 安房直子論 ―作品に表れた〈想い〉―
- 秋好中宮の人物像について
- 伊勢物語から源氏物語へ
- 芥川龍之介と児童文学
- 夏目漱石「夢十夜」研究 ―第二夜・第三夜を中心に―
- 「深い河」における〈水〉
- 源氏物語の研究
- 三島由紀夫「金閣寺」論
- L I V E M Cにおけるやりとりの10年間の変化の分析
- ―関ジャニ∞のDVDを対象に―
- 井上ひさし作品における「笑い」
- 宮沢賢治『ボラーノの広場』研究
- ―登場人物から見る二つの広場―
- 『義経記』の研究
- 森鷗外研究 ―「沈黙の塔」を中心に―
- 遠藤周作「侍」論
- 太宰治『新釈諸国噺』論 ―金銭をめぐる―
- 外国人児童・生徒の日本語教育
- 芥川文学におけるキリスト教観
- 黄泉国訪問説話の考察
- 『一寸法師』の研究
- 御伽草子『さよひめのさうし』の研究
- 韓国における多言語・多文化政策

石井万智子
 大出有理花
 岡田 彩乃
 加藤 里穂
 金森理伊奈
 川口 早紀
 北平 瑞穂
 熊木 杏里
 小林沙也加
 齋藤 玲子
 坂田希帆子
 杉浦 文絵
 高野あさひ
 田中 星良
 谷口 真愛
 田畑 万奈
 翅 桃香
 鶴田 知里
 田 紗矢子
 中對 桃美
 中村 圭織
 新田見あずさ
 パク・スジョン

- インタビューとフリートークにおけるアイドルのデビュー以降
の話し方の変化 ―道重さゆみと嗣永桃子の発話数・発話の種
類に着目して―
 - 小川未明研究 ―「金の輪」を中心に―
 - 少女小説にみられる少女像 ―他のジャンルと比較しながら―
 - 古事記における「見畏み」について
 - 英語教育に関する大学生の意識
 - 遠藤周作「女の一生 一部・キクの場合」論
 - 三浦しをん論
 - 古典語助動詞体系の叙法論的整理の試み
 - 『平家物語』の研究 ―死生観について―
 - 女三宮の人物像
 - 毒舌タレント マツコ・デラックスの悪態のつき方について
―「月曜から夜ふかし」を対象に―
 - 夏目漱石「三四郎」研究 ―美彌子を中心に―
 - 『太閤記』研究
 - 『御伽草子』の研究 ―『瓜姫物語』を中心に―
 - 文献的実例に基づく副詞の意味・用法変遷
 - 太宰治「お伽草紙」論 ―「カチカチ山」を中心に―
 - 夏目漱石「草枕」の文学史における意味
-
- 速水明日香
 - 平野 遥香
 - 星野 友希
 - 蒔田 佑里
 - 松浦 可奈
 - 丸山 朝子
 - 三浦杏莉沙
 - 三日市綾花
 - 三原あずさ
 - 室山 真穂
 - 山崎 遥
 - 山田 恵美
 - 湯田 理菜
 - 横山 高子
 - 吉藤 彩那
 - 渡邊 希恵
 - 渡辺 真奈